

令和元年度

若年技能者人材育成支援等事業 実施状況

令和元年 12月18日

千葉県技能振興コーナー

(千葉県職業能力開発協会)

# 目 次

---

## I 本事業の目的、内容、及び実施期間

1	目的	1
2	内容	1
3	実施期間	1

---

## II 令和元年度における事業の推進計画

1	地域における技能振興事業	1
2	ものづくりマイスター等の認定、登録	3
3	ものづくりマイスター等の活用	3
4	地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営	5
5	目標	5

---

## III 令和元年度における事業の実施状況等

1	地域における技能振興事業の実施状況	6
2	ものづくりマイスター等の認定状況	7
3	ものづくりマイスター等による実技指導等の実施状況	9
4	地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営状況	9

---

## I 本事業の目的、内容、及び実施期間

### 1 目的

若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成等が課題となっていることから、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等を図る。

### 2 内容

技能競技大会の課題等を活用しながら、ものづくりマイスター等の派遣による実技指導を中心に、若年技能者の人材育成を行うとともに、学生生徒、若者にもものづくり産業の魅力を発信し、技能分野への誘導を図る。

また、熟練技能者との連携・協力の下、各種事業を展開し、低年齢層からの教育、技能士のスキルアップ・技能尊重気運の醸成を図る。

事業実施に当たっては、県や地域関係者と連携し、効果的な事業展開を図る。

### 3 実施期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

## II 令和元年度における事業の推進計画

### 1 地域における技能振興事業

#### (1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

##### ① 技能五輪全国大会の予選の実施

中央職業能力開発協会準備課題により予選を実施する職種及び各県職業能力開発協会が独自の選考基準にて推薦する職種のうち、当県から大会参加が見込める、西洋料理職種、電気溶接職種、造園職種等について、予選大会の実施を図る。

**参加人員：約40名想定**

##### ② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

選手及び指導員の旅費、並びに工具等の運搬費の援助を行うことにより、中小企業等の大会参加を促進する。

**支援等予想人員：技能五輪全国大会 選手20名 指導員10名想定**  
**：若年者ものづくり競技大会 選手10名 指導員5名想定**

#### (2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組

##### ① ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用

##### (ア) ものづくり体験イベントの実施

千葉県、高齢・障害・求職者雇用支援機構、市町村教育委員会、技能士会連合会等と連携し、次世代を担う児童生徒に、ものづくりの楽しさ、素晴らしさ等を認識してもらうため、ものづくりマイスター及びそれ以外の熟練技能者の指導のもとに、職業に関する説明の後、実際にものづくりを体験する「ものづくり体験教室」を実施する。

**開催時期及び受講者数等**

**：7月～8月頃、9月～10月頃、1月～2月頃 計300名以上 [目標]**

(イ) 小学校での「ものづくり体験教室 ～手づくりみらい教室～」の実施

ものづくりマイスターの活用事業における魅力発信事業に加え、ものづくりの楽しさや素晴らしさ等を子供たちに認識してもらうため、県内を3地区に分け、千葉県、技能士会連合会（マイスター認定対象職種以外含む）、市町村教育委員会等と連携の上、小学校において、職業に関する説明の後、熟練技能者等の指導の下で実際にもものづくりを体験する授業を実施する。

**開催時期及び受講者数等：9月～11月頃 計150名想定**

(ウ) 教師等に対する熟練技能者等による実技指導

児童・生徒たちにもものづくりの魅力を伝えていくためには、学校等教育関係機関の技術科担当教師の理解・技術が不可欠であることから、市町村教育委員会等と連携し、技術科担当教師等を対象に実技指導を実施する。

**開催時期及び受講者数等：7月～12月頃 約50名想定**

② 技能競技大会展

技能競技大会展に際しては、中央技能振興センター及び関東・甲信越ブロックの幹事県に協力する。

③ 技能士展の実施

技能士展に際しては、中央技能振興センター及び関東・甲信越ブロックの幹事県に協力する。

④ 「地域発！ いいもの」 応援事業の実施

地域で行われる技能振興の取組を支援し、技能尊重の気運を更に高めるため、中央技能振興センターが実施する「地域発！ いいもの」応援事業の実施にあたり、周知、受付、取りまとめ等を行い、中央技能振興センターとともに推進する。

**募集時期：年1回程度**

⑤ グッドスキルマーク事業の実施

技能を生かした製品等の普及を図るとともに技能検定制度の推進を図るために創設されたグッドスキルマーク事業を推進するため、当協会ホームページへの掲載のほか、当協会会員、業界団体、商工関係部署等に募集に係る周知を行うなど、効果的なPR活動に努めるとともに、応募に関する業務などを併せて行う。

**募集時期：年2回程度**

⑥ 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

**【新規事業】**

技能尊重機運の醸成を図り、若年者が技能労働の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する平成30年度の卓越した技能者の表彰の被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツの作成支援を行う。

**対象者数：3名**

## 2 ものづくりマイスター等の認定、登録

### (1) ものづくりマイスター等の開拓

職種別認定状況、また、実技指導等の派遣ニーズを踏まえた上で、ものづくりマイスター、IT マスター及びテックマイスター候補者の開拓（掘り起こし）を行い、認定・登録を進める。

様々な派遣ニーズに対応できるよう認定職種数の拡大を図ると共に、工業高校や教育訓練機関等からの派遣ニーズが高い機械加工、電子機器組立て、和裁等、また魅力発信事業での派遣ニーズが高い菓子製造、婦人子供服等の職種について、十分なマイスター等の手当てが為されるよう、重点的に開拓を進める。

認定者数：20名 [目標]

### (2) ものづくりマイスター等への説明

実技指導をより適切かつ確実に実施するためには、技能だけでなく、「指導力」や「本事業に対する理解」を確保することも重要であり、認定されたマイスター、IT マスター及びテックマイスターに対しては、制度の趣旨、実技指導やものづくり魅力の発信等の重要性、指導技法等講習の必要性を周知するとともに、説明を行う。

過去3年間活動実績のないマイスターについては、活動意思の有無を確認するとともに、意思のあるマイスターについては最新版のテキスト等により情報提供する。

### (3) 申請書類の取りまとめ

マイスター及びIT マスター及びテックマイスターへの申請に係る相談・援助の拠点として、コーナーに窓口を設置し申請書類の取りまとめを含む種々の業務を行う。

### (4) ものづくりマイスター等に対する研修

マイスター、IT マスター及びテックマイスターの指導技法の習得・向上のため、訓練施設指導員等が講師となり、認定されたマイスター等を対象に講習を行う。

また、中央技能振興センターの企画する全国会議、ブロックごとの研修等に積極的に参加する。

実施：5回 [予定]

## 3 ものづくりマイスター等の活用

### (1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

#### ① コーナーにおける相談・援助

コーナーの相談窓口において、人材育成の取組方法・実技指導等の相談・援助、ものづくりマイスター、IT マスター及びテックマイスター派遣のコーディネート等を行う。実技指導に必要な設備について中小企業では確保できない場合も想定され、コーナーが施設・設備の借用等についてもコーディネートを行うなど、各企業の事情に応じた、きめ細かい人材育成相談・援助を心がける。

#### ② 相談援助、指導ニーズの把握

県内の製造業及び建設業関係の中小企業、教育訓練機関の指導ニーズを把握するため、過去に実施したアンケート調査結果等を活用するなどし、より効果的にニーズを把握し適切なマッチングに努める。

③IT マスターの学校への派遣のための教育機関等への働きかけ

小中学校における IT マスターに係る周知が不足しているので、IT マスターの学校への派遣促進に向け県教育委員会と連携し広報活動を行うとともに、ものづくりマイスターの派遣先や相談があった学校には、IT マスターの派遣についても強く勧めてゆく。

(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施

実技指導は、最適なものづくりマイスター等を選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練指導のニーズに応じた実技指導を行う。

マイスター活動数	[目標]	
： 中小企業・業界団体等	1,757 人日	114 件
工業高校等教育訓練機関	2,148 人日	69 件
計	3,905 人日	183 件

(3) 「目指せマイスター」プロジェクト

① 「ものづくりの魅力」発信

児童・生徒等にもものづくり産業の魅力を発信し、技能分野への誘導を図る観点から、学校の授業等へ「ものづくりマイスター」の講師を派遣する。また、事前に学校の教師を対象に『ものづくりの魅力』講座等を実施する。

マイスター活動数	[目標]	
： 2,573 人日	43 件	

② 「IT の魅力」発信

児童・生徒等の情報技術についての興味を喚起し、これを使いこなす能力の付与が出来るよう、学校の授業等へ IT マスターを派遣し「IT の魅力」発信を行う。

IT マスター活動数	[目標]	
： 200 人日	5 件	

③若者に対する「ものづくりの魅力」発信

地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対するものづくり体験等を実施する。

マイスター活動数	[目標]	
： 20 人日	1 件	

④ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習

児童・生徒・学生・求職者を対象とした「ものづくりマイスター」のいる事業所での職場体験実習を実施する。

マイスター活動数	[目標]	
： 10 人日	1 件	

#### 4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

##### (1) 連携会議の設置

本事業を効果的に実施するため、千葉県、経済団体、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、千葉労働局、千葉県教育委員会等の関係者による連携会議を設置・開催し、本県の産業特性、就業構造等を踏まえた、本事業の推進計画の策定、進捗状況の管理などを行う。

##### (2) 連携会議の開催回数

年間2回以上(当該年度の推進計画の策定、事業の進捗管理など)

#### 5. 目 標

##### (1) 成果目標

- ①ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 90%以上
- ②ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした訓練生の割合 90%以上
- ③ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度 90%以上
- ④ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合 90%以上
- ⑤地域における技能振興事業の参加者の満足度 90%以上

##### (2) 活動目標

- ①ものづくりマイスターの認定者数 20人以上
- ②ものづくりマイスターの活動数 6,508人日以上

### Ⅲ 令和元年度における事業の実施状況等

#### 1 地域における技能振興事業の実施状況

##### (1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

###### ①技能五輪全国大会の予選の実施

- 「西洋料理職種」予選 平成31年4月10日実施 参加者数 2名  
(第57回大会へ2名派遣)
- 「造園職種」予選 令和元年5月19日実施 参加者数 3名

###### ②技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

- 第14回若年者ものづくり競技大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。(参考)本県からの参加選手：3名
- 第57回技能五輪全国大会への参加選手、指導員の旅費、並びに同大会参加に係る工具運搬費について支援。(参考)本県からの参加選手：12名

##### (2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組

###### ①ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用

###### (ア)イベント

- 親子ものづくり体験教室2019<sup>プラス</sup>  
千葉市内の小学校児童及び保護者を対象に参加者を募集し、ものづくり体験イベントを実施。

開催日：令和元年8月4日

場 所：ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター）

ポリテクセンター千葉主催イベントと同時に開催

講 師：ものづくりマイスター、熟練技能者

体験メニュー：・広告面粘着シート仕上げ ・電子機器組立て ・畳製作  
・タイル張り ・大工工事 ・内外装板金 計6職種

来場者数（受講者含）：291名

###### <今後の予定>

- 八千代ものづくり体験教室（令和2年2月22日・23日、八千代市内の小学校児童・中学校生徒を対象）
- ものづくり体験教室2019セレクト（令和2年2月29日、千葉市内の小学校児童を対象）

###### (イ)「ものづくり体験教室 ～手づくりみらい教室～」の実施

小学生5・6年生を対象とし、県内を3地区に分け、それぞれの地区で各1回（計3回）実施。（参加児童数：224名、実施メニュー数：計12メニュー）

図表1 手づくりみらい教室実施結果

日付	実施校	メニュー数	指導者数	児童数
9月11日	千葉市立あやめ台小学校	5メニュー	15名	50名
10月18日	栄町立安食小学校	9メニュー	25名	82名
11月8日	君津市立南子安小学校	8メニュー	28名	92名
合計			68名	224名



(ウ) 教師等に対する熟練技能者等による実技指導

児童・生徒たちにもものづくりの魅力を伝えていくためには、学校等教育関係機関の技術科担当教師の理解・技術が不可欠であることから、市町村教育委員会等と連携し技術科担当教師等を対象に、熟練技能者等を派遣し実技指導を実施。

実施件数：1件

受講者人日数：44人日

② 技能競技大会展の実施

令和元年10月1日・2日に東京都で実施され、周知に協力。

③ 技能士展の実施

令和元年10月1日・2日に東京都で実施され、周知に協力。

④ 「地域発！いいもの」応援事業

地域で行われる技能振興の取組や制度を支援、全国的に広報し技能尊重気運を更に高めるための中央技能振興センター実施「地域発！いいもの」応援事業の実施にあたり、周知、受付、取りまとめ等を行い、中央技能振興センターとともに事業を推進。

令和元年6月26日 協会会員企業・団体、専門高校等に対し応募を依頼。  
当コーナーホームページに掲載。

令和元年11月15日 応募締切（応募1件）

取組名称 第4回「やちよ蕎麦の会×和洋女子大学コラボ」メニュー開発

⑤ グッドスキルマーク事業

一級技能士等が技能を駆使した製品等を認定・周知するため、中央技能振興センターが実施するグッドスキルマーク事業について、周知、受付、取りまとめ等を行い、中央技能振興センターとともに事業を推進。

令和元年7月18日 協会会員企業・団体、専門高校等に対し応募を依頼。  
当コーナーホームページに掲載。

募集期間 上半期 6月24日～8月23日（応募なし）

下半期 10月1日～12月5日（応募2件）

製品概要 どら焼き・焼き芋羊羹

⑥ 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

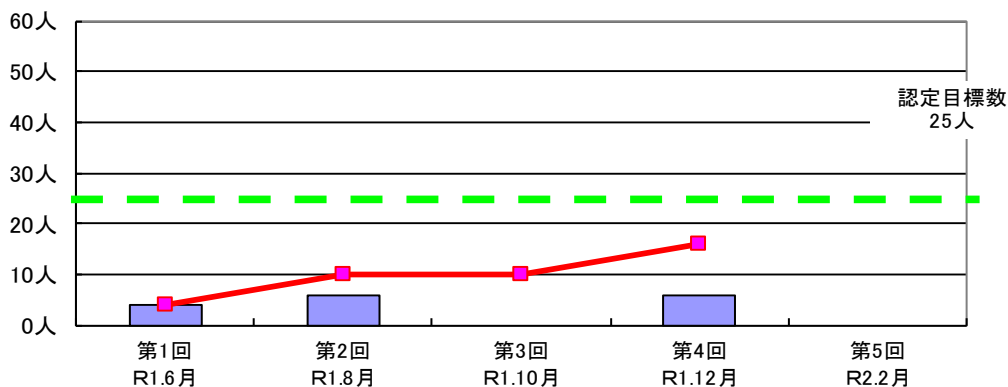
技能尊重機運の醸成を図り、若年者が技能労働の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成する平成30年度の卓越した技能者の表彰の被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツの作成支援を行う。

中央技能振興センターの依頼により対応予定。

2 ものづくりマイスター等の認定状況

- 令和元年12月認定分までで、ものづくりマイスター認定者数は、実人数16人延べ数16人。
- 認定職種は9職種で、職種別に見ると、①建築板金（3人）、①表装（3人）、③建築大工（2人）、③婦人子供服製作（2人）、③畳製作（2人）、と続いている。
- 令和元年12月認定分までで、ITマスター認定者数は、実人数1人延べ数2人。
- 認定職種は2職種、職種別に見ると、①ITネットワークシステム管理（1人）、①オフィスソフトウェア・ソリューション（1人）、となっている。
- テックマイスターについては、認定申請なし。

図表2 ものづくりマイスター認定状況



	第1回 R1.6月	第2回 R1.8月	第3回 R1.10月	第4回 R1.12月	第5回 R2.2月
認定数	4人	6人		6人	
認定数 (累計)	4人	10人	10人	16人	

※ 記載は実認定者数

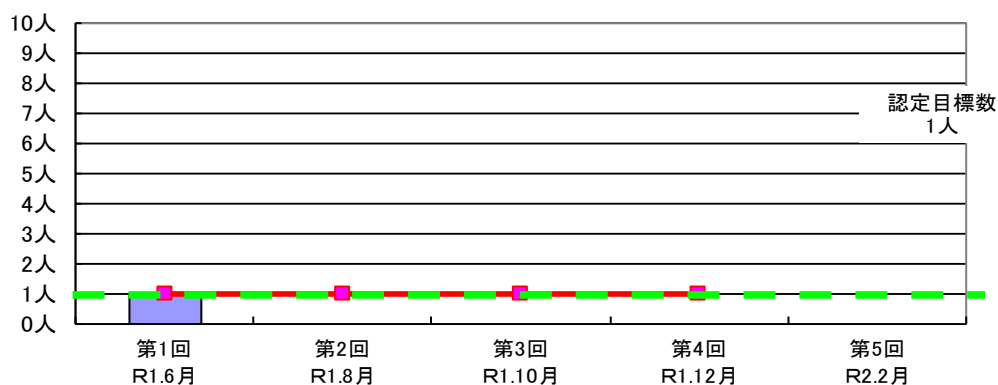
ものづくりマイスター職種別人数

認定職種	人数	認定職種	人数
建築板金	3人	機械保全	1人
表装	3人	左官	1人
建築大工	2人	鉄工	1人
婦人子供服製造	2人	機械加工	1人
畳製作	2人		

\* 記載は延べ人数。一人のものづくりマイスターが複数職種の認定を受ける場合があることから、職種別人数の合計は、実認定者数と一致しない。

図表3 ITマスター認定状況

ITマスター認定者数



	第1回 R1.6月	第2回 R1.8月	第3回 R1.10月	第4回 R1.12月	第5回 R2.2月
認定数	1人				
認定数 (累計)	1人	1人	1人	1人	

※ 記載は実認定者数

## ITマスター職種別人数

認定職種	人数	認定職種	人数
ITネットワークシステム管理	1人	オフィスソフトウェア・ソリューション	1人

\* 記載は延べ人数。一人のITマスターが複数職種の認定を受ける場合があることから、職種別人数の合計は、実認定者数と一致しない。

### 3 ものづくりマイスター等による実技指導等の実施状況

- 実技指導の実施は、派遣ニーズの把握、マイスターとのマッチング等の調整後に実施。
- 派遣ニーズは、企業等からに比べ学校・教育機関からのものが多い。
- 実技指導等の実績は、令和元年 11 月末時点で 5,036 人日。実施中・予定を含めると 6,716 人日で、本年度目標数（6,508 人日）は達成する見込み。
- 内訳は、企業等への派遣が 1,185 人日、学校（工業高校等）への派遣が 1,384 人日、魅力発信事業（児童・生徒向け等）への派遣が 2,445 人日。  
また、「ものづくりマイスター」のいる事業所での職場体験実習の実施は、10 人日。地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対するものづくり体験の実施は、12 人日。
- IT マスターに係る指導実績は、魅力発信事業への派遣が 115 人日。実施中・予定を含めると 224 人日で、本年度目標数（200 人日）は達成する見込み。

図表 4 ものづくりマイスター等活動状況

ものづくりマイスターによる実技指導						合計
活動数(人日)						
	企業及び 業界団体	工業高校等	魅力発信 (児童生徒等)	魅力発信 (職場体験)	魅力発信 (サポステ)	
11月末日 現在	1,185	1,384	2,445	10	12	5,036
3月末日 (予定含)	1,416	1,721	3,554	13	12	6,716

ITマスターによる指導				合計
活動数(人日)				
	企業及び 業界団体	工業高校等	魅力発信 (児童生徒)	
11月末日 現在			115	115
3月末日 (予定含)			224	224

### 4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

- 第1回連携会議開催 令和元年 5月 23日 ちば仕事プラザ 1階第6教室  
 議題：令和元年度 若年技能者人材育成支援等事業推進計画について ほか
- 第2回連携会議開催 令和元年 12月 18日 ちば仕事プラザ 2階第3教室  
 議題：令和元年度 若年技能者人材育成支援等事業実施状況について ほか